

「希望を持てる新しい日向市 区座談会(福瀬区)」 概要(要約)

日時 令和7年1月27日(月)19:00~20:30

場所 福瀬区公民館

座談会参加者 市民 32 名

座談会記録

- 1 開会
- 2 定例市議会報告及びテーマ説明(市長)
- 3 意見交換 テーマ「日向市と福瀬区のこれから」
 - 以下のカテゴリ別に意見を行った。

～参加者からのご提案・ご意見概要～

① ぷらっとバスの試験運行

意見： デマンド型でなく、ぷらっとバス(定時定路線型)を福瀬区まで試験的でも運行して欲しい。

→市長： ライドシェアが全国的に注目されているが、高齢者が多い地域では運転者の確保が課題。予約を受けたバス停に迎えに行く方式(AI デマンドバス)など、実用化の成功は未知数だが、新しい挑戦が必要と考えている。

総合政策部長： 全国的に地域交通の維持が課題である。市のぷらっとバスは関係機関との会議体で運行決定されている。東郷地区の交通事情も理解しながら、住民の助け合いによる乗り合い「ライドシェア」やデマンド型バスの導入を検討し、交通手段の充実を目指していきたい。

② 道路工事の早期完了を

意見： 東郷霊苑付近の国道327号の道路改良工事が長期にわたり、生活に支障がある。土日でも工事を行うなど早期完成に努めて欲しい。工事完成後は交通量増加が懸念されるので、安全対策を望む。歩道が住宅側に無く、路側帯を歩く者も多く危険である。

→市長： 地域の方々にご迷惑をおかけしている。工事の主体は県であり、日向市が直接介入するのは難しい状況だが、建設業も働き方改革が行われており、工事の進捗にはご理解をお願いしたい。火葬場付近は3回目の改修で、重要な場所として県も対応している。地域の皆さんのご協力をお願いしたい。

担当課補足： 国道327号切瀬工区の道路改良工事を県事業で進められていますが、本改良工事では見通しの悪い連続したカーブ区間をより安全通行できるように線形の改良をしています。しかしながら、現場は急峻な地形であるため、安全に配慮しながら慎重に工事を行う必要があること、また、働き方改革として就

労働環境改善の取り組みである「週休2日工事」を行う工事としていることから、長期間の工期を必要としています。県では工事の分割発注など早期完成に向けて取り組んでおり、市としても、円滑な事業進捗や迂回路を含む周辺道路等の安全対策について、調整、支援に努めていきます。（都市政策課）

③ 工業団地の通勤路改善

意見： 東郷工業団地を整備する場合、アクセスする道路の改良も必要ではないか。

→市長： 県に対し、327号の改良を要望していきたい。

担当課補足： 国道327号では、現在、小野田工区の歩道整備、切瀬工区の道路改良、永田工区のバイパス整備を県事業で進められていますが、事業の早期完成や永田地区から道の駅「とうごう」までのバイパス整備の事業化について、県に要望を行っているところです。引き続き県と連携して、事業化に向けた調整、支援に努めていきます。（都市政策課）

④ 高齢者支援

意見： 地域の高齢者が免許証を返納し、交通手段がなく困っている。工事の影響で病院や買い物に行く際に不便を感じている。ボランティアの協力もあるが、高齢者だけの世帯や一人暮らしも多いため、早期の工事完了を望む。

→市長： 状況は重々承知している。住民の不便さを解消することが行政の務めである。

担当課補足： 国道327号切瀬工区の道路改良工事を県事業で進められていますが、現場は急峻な地形であるため、安全に配慮しながら慎重に工事を行う必要があること、また、働き方改革として就労環境改善の取り組みである「週休2日工事」を行う工事としていることから、長期間の工期を必要としています。県では工事の分割発注など早期完成に向けて取り組んでいますが、本市としても、円滑な事業進捗について、調整、支援に努めていきます。（都市政策課）

工事の影響で宮交バスが迂回していて不便である件については土木事務所と共有し、土木事務所から宮交に協議を行ったと伺っており、現行からの変更はないとの事でした。なお、土木事務所から工事完了時期は令和8年5月の見込であるとの連絡を受けて、2月の区長会でお知らせしました。（東郷地域振興課）

⑤ 自治会の支援

意見： 人口減少、高齢化が進み、集落機能の維持が課題である。自治会（区）が一番の担い手となるが、世帯数の減少に伴い区費納入額も減り、区の財政が厳しい。中山間地域の現状を踏まえ、日向市と東郷の自治会を異なる角度で支援してほしい。ライドシェアなども、自治会の中である程度できるような組織体制もできるのでは。

→市長： 中山間地域では区の加入率が高いが、単身世帯が増え負担が大きくなり、区を抜ける問題が多いことも承知している。地域活動ができなくならないよう配慮の度合いを検討しつつ、最低限の生活インフラを守り、支援体制を整えていきたい。

副市長： 東郷地区のいろんな課題やバスの問題、屋根付き運動広場の問題もずっと以前から協議させていただいている。区の維持の問題など、大きな課題が多くあるため、担当部署で工夫しながら取り組みを進めていきたい。

担当課補足： 持続可能な地域づくりのためには、自治会をはじめとする「地縁型コミュニティ」を引き続き支援しつつ、関係人口をはじめ多様な関係性のもとに行われる「テーマ型コミュニティ」の活動支援も重要です。地域が主体となって地域に活力を生み出すためには、チャレンジしやすい環境づくりが必要と考えことから、過疎地域振興基金を活用した補助事業について、要綱の見直しを進めています。（東郷地域振興課）

⑥ 側溝の補修

意見： 昨年の台風 10 号の影響で側溝が壊れ、（個人所有の）井戸の補修ができない。早急に側溝の補修をして欲しい。

→市長： 市内の井戸について、今後井戸として活用できるかどうかの調査を考えている。今の現状では、個人所有の井戸に市が修繕することはできない。側溝の補修については、担当課に確認する。

担当課補足： 昨年 10 月、建設課が井戸所有者の方と本件について立会を実施し、来年度に補修を行う旨を回答していましたが、本質問の後にも連絡を行い、再度、同様の内容を伝えました。（建設課）

⑦ 耳川の水質改善

意見： 耳川の濁りが続いている。アユ漁にも影響がある。対策を。

→市長： 耳川の水質の濁りは県とも確認している。今後も調査をしっかりとやっていただくようお願いしていきたい。

担当課補足： 耳川流域では、平成 17 年 9 月の台風 14 号の豪雨により、流域市町村が甚大な被害を受けたことで、関係者等と議論を重ね、平成 23 年 10 月に県が「耳川水系総合土砂管理計画」を策定しました。同計画では、「耳川をいい川にする」ことを基本目標として、同計画に関する評価・改善委員会やワーキンググループ会議が毎年開催され、河川環境の改善に向けた協議が行われているところです。この委員会の中で、耳川の濁りは、上椎葉ダム上流の椎葉村不土野地区における大規模山地崩壊が濁水発生原因の一つと考えられる旨の報告が行われました。当該地区は、国の「地すべり防止区域」に指定されており、今後対策工事が進んで行くものと思われます。これからも引き続き、評価・改善

委員会等の協議を注視しながら、耳川の河川環境の早期改善を要望していきたいと考えています。(林業水産課)

⑧ 今後の市 PR 活動

意見： 日向坂 46 関連イベントの反響が大きかったが、今後、日向市での大きなイベントの計画はないか。市長が YouTube などでも市を PR することも必要では。

→市長： 市ではシティプロモーションに取り組む。2 月 11 日に UMK で放送される「物産展の女～宮崎編～」というテレビドラマで日向市が紹介された。去年の日向坂の PR はほとんど予算をかけずに成功した。自分も YouTube や SNS を活用し、動画等で市外に発信している。今後も地道に努力していきたい。

担当課補足： 本市の魅力を広く認知してもらうため、恵まれた自然環境や文化、食などの地域資源を積極的に情報発信するなど、地域ブランドの確立に向けた総合的なプロモーションに取り組むことで、国内外からの観光誘客、移住・定住の促進による交流人口や関係人口の拡大、ふるさと納税の拡充等につなげていきます。(ふるさと物産振興課)

⑨ 法面危険箇所

意見： 去年の台風で、県道：中野原美々津線の法面崩壊が心配される箇所がある。予防対策を区でも要望しているが、状況がわかれば教えてほしい。

→市長： 担当部署に確認したい。

担当課補足： 管理者である県日向土木事務所と現場確認を行いました。県日向土木事務所の見解としては、福瀬区の下流付近について、河川の流れを道路へ寄せないよう水制工を設置するほか、河岸侵食を防ぐために袋詰玉石を設置する等の対策を行ってきたところです。引き続き、侵食の状況を注視しながら、必要に応じて対策を検討していきたい、とのことでした。(建設課)

4 閉会

.....

～その他、アンケートでいただいたご意見・ご提案を紹介します～

○ 災害時の避難場所をメディキットの敷地内に建設できないものか。東郷学園や中央公民館に行くにも交通手段がない。

→担当課補足： メディキットの敷地内は、今後も工場増設を計画していると伺っていますので、避難場所の建設は難しいと考えます。台風等で避難する場合には、早めに移動手段を確保し、明るいうちに安全に避難いただきたいと思います。(防災推進課)

○ ぷらっとバスの試行を週1回でも試行してみてもは？日向地区内に3～4台走っているが満杯ではないと思う。

→担当課補足： ぷらっとバスや南部ぷらっとバスは、市街地、南部地域において、合計9コースを、3台の車両で運行しています。定時定路線を平日、日祝日に運行しており、利用者は年間約60,000人です。そのため、現状の車両を利用して、試験運行することは難しい状況です。中山間地域への公共交通としては、ライドシェアなど新しい交通形態の導入可能性を研究していきたいと考えています。（総合政策課）

○ 地籍調査を早く終了するようお願いしたい。終了地と未終了地では、固定資産税の税負担に不公平感がある。山林のみ軽減税率を採用して、全区域終了後に公平な税を徴収すればよいと思う。

→担当課補足： 地籍調査については、従来の調査（地上法）に加え、山林部では航空レーザ測量や航空写真などのリモートセンシングデータを活用した効率的な調査（航測法）を並行して進めながら、早期の完了を目指し、継続的に取り組んでいるところです。（林業水産課）

地籍調査後の固定資産税の課税については、旧日向市と旧東郷町の課税方式が異なり均衡を失することから、当時の合併協議会において、「東郷町においては当分の間は従来の方式で課税し、日向市の国土調査再開時に日向市の方式である地籍調査後の地積で課税する。」との取り決めがなされています。（税務課）

○ 未使用地、親からの土地などを市に売れないか。固定資産税が高くて困っている。

→担当課補足： 市として必要としない土地の購入及び寄附の受け入れについては、維持管理コスト（市民負担）が増大しますので行っておりません。高い公共性が見込まれる場合にはご相談ください。（資産経営課）

○ 旧小学校（福瀬小学校）のトイレを洋式化できないか。

→担当課補足： 旧福瀬小学校の校舎については、特定非営利活動法人へ無償貸付しており、契約書において、貸付物件の保存、利用、改良等のための経費は、同法人負担となっているところです。（福祉課）

○ 市長が無駄な事業の見直しをしようと言っていたが、何かあったのか。

→担当課補足： 令和7年度当初予算の編成において、限られた財源を効果的・効率的に活用するという視点から、以下の事務事業や補助金の見直しを行い、新たな事業の構築や既存事業の拡充等に取り組みました。（財政課）

（主なもの）

・ ひむか-Biz運営事業の廃止（△21,209千円）

- ・ 日向ひょっとこマラソン大会開催事業の廃止（△3,200 千円）
- ・ サーフタウン日向推進事業
ビーチスポーツフェス実行委員会補助金・ビーチイベント補助金の廃止
（△7,000 千円）
- ・ 地場産業振興事業
はまぐり基石まつり実行委員会補助金の縮小（△1,400 千円）

○ 取り組みのスタンス、分かりやすい資料などとても良くなり、地域住民目線に近くなって一方通行でない感じが非常に良かった。ただ、「日向市と福瀬区のこれから」というのは、具体的に福瀬区のこれからについて話し合ったわけではないので、少しハードルを上げすぎた設定だったように思った。

→担当課補足： 参加者同士が自由にご意見を交わす場になるようテーマを設けたところですが、ご意見を参考に、今後の開催方法などを検討したいと考えています。
（秘書広報課）